



国際ロータリー第2610地区
南砺ロータリークラブ

クラブ会報 なんと



NO. 2633

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/次曜日 12:30点鐘 例会場/福光会館2Fサークルルーム1 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 及び光前 0763-53-1333 FAX 53-1334

写真撮影 写真同好会

高野実会員



第2694回例会 令和6年4月9日(火)小雨9℃

- ◆点 鐘 12:30 木村伊徳会長
- ◆司 会 野村 守SAA
- ◆ソング 「奉仕の理想」
- ◆ゲスト 公益社団法人 南砺幸せ未来基金 代表理事 南 眞司様
公益財団法人 南砺幸せ未来基金 事務局長 浦井啓子様



クラブHPへ

◆会長の時間 木村伊徳会長



72才の誕生日を迎え
益々元気!
木村伊徳会長

今日の話は突拍子もない話で、五重塔について簡単に知っている事をしゃべります。日本が世界に誇る建物として法隆寺の五重塔が代表となっています。五重塔は地震で倒れた事例がないとの事で「心柱」という真中の大きな柱を中心に揺れを吸収する「柔構造」で建てられているからと推測されています。

そこで、なんで五重塔の話かという、先週4月6日にNHKで数十年ぶりに「プロジェクトX」が放送され、東京スカイツリーの構造の話でした。土台の部分が三角形で徐々に円柱になっていく内容やその中心になるのが「心柱」と放送されていたので五重塔の話をしたのです。

私はまだ行っていませんが、東京タワーの倍以上の高さに組立てる技術はすごい!!と思います。造っている途中の東日本大震災の時も倒れずにいたのもすごいなあ~と思います。話すことがないもんですから思い付きをしゃべりました。

◆理事会報告 尾山裕和幹事

- ①4/27(土) 輪島炊き出しボランティアの件(メーキャップの件)
- ②その他

◆幹事報告 尾山裕和幹事

- ①4/27(土) 輪島被災地炊き出しボランティアの活動。(10~15人)
- ②4月3日台湾付近で発生した地震災害について
当地区内のクラブで台湾と友好関係を締結されているクラブが被災されているところがありましたら、地区としてもお見舞いしたいとの案内がありました。
- ③高岡万葉RC、高岡RC 例会変更の案内

Rotary JAPAN PortalSite
<https://japanrotary.club/>

◆委員会報告

- R情報・雑誌 岩木貴之委員長
「友」4月号紹介: 4p...RI会長メッセージ、7p...「RCが守る日本の動植物」の1例として当クラブのオミナエシの保護活動が取り上げられ、活動状況を古軸裕一社会奉仕委員長が紹介されています。分かり易く纏めてありますので、是非読んで頂き知っておいてください。ほか、縦書9p「桂文珍」さん...等。



♣4月の誕生日祝 8日 木村伊徳君

◆輪島炊き出しボランティアについて……久患龍三実行委員長
4/27の被災地炊き出しには、テントを張って利質のお焼き1000個と、コーヒー400杯分用意して行きます。11時~15時頃まで。 蒸し器→



★ニコニコボックス 4/9 安居利浩委員長

木村君 先週の観桜会、楽しんで頂きましたでしょうか?
今日は南砺幸せ未来基金の浦井さん、南さんに来て戴き、ありがとうございます。

尾山君 4月3日の台湾付近で地震災害、第2610地区より友好クラブにお見舞いの予定です。

川合君 南理事長、浦井さん、ようこそ。未来基金の活動について話をいただきます。

石崎和君 南砺の100年後の卓話楽しみです。川合さん宜しく。

榊 君 小矢部川の桜も満開に近いが、今日は寒そうです。木村さん誕生日おめでとうございます。
南さん、浦井さん、ようこそ。

古軸君 桜の花が見頃を迎えております。
南先生、浦井さんをお迎えして。
5/14(火)のオミナエシ植栽には皆様宜しくお願い致します。又、鮎の放流も5/27(月)に予定しておりますので、こちらでも多数の参加お願い致します。

古瀬君 桜、満開です。南砺幸せ未来基金の南様、浦井様、ようこそ。卓話宜しく申し上げます。

湯浅君 桜が満開となりました。心が癒されます。
ありがとうございます。合掌

久患君 南さん、浦井さん、ようこそ。
南さんランマまだやっていらっしゃいますか?

中田君、吉田君/南先生、浦井様、ようこそ! 卓話楽しみです。

大島君 会社休んで参加しました。

高瀬君 新年度が始まりました。気持ちを新たに色々な事に挑戦したいと思っております。

谷村賢君 観桜会、みなさんご協力ありがとうございました。その後、大酒飲みの高瀬さんに連れていかれて、いろんな所に記憶を置いてきてしまいました。

谷村修君 先日、森本駅前例の交差点で目の前の車が捕まっていた。自分もついて行きそうになっていましたが、咄嗟に安居委員長のニコボックスを思い出し無事でした。ありがとうございます。本当にありがとう!!

安居君 修基君の投函で一言。森本駅前交差点で青キップ切れられ7000円の納付の期日を過ぎてしまいました。金沢東署へ相談に行ったら「また再送来るから、待っとるまっしー」と言われ待っていました。4月5日に再送が来ましたが、7900円に上がっていて、ついでに赤キップも入っていました。みなさん、早く納付しないと、重罪になる様です。クワバラ・クワバラ。



本日のプログラム 4月23日(火) 第2695回例会

地区研修・協議会報告: 担当 久患龍三会長エレクト
IA台湾研修旅行報告: 担当 片山会員/ゲスト:IA部員

◆出席報告 吉田 実委員長

会員数	4月9日出席率	3月26日(修正)
45 (免除1)	72.73% (出席32)	84.44% (出席38 内メーク2)

メーキャップ: 谷村賢治君、古瀬喜八郎君。

次回の予定 5月7日(火) 第2696回例会

青少年セミナー
担当 山田清志青少年奉仕委員長

《南眞司代表理事》



今日は呼んで頂きありがとうございます。

私現在75歳ですが、42年ほど前に井波に移住し医者として南砺市民病院で一生懸命医療に従事していました。安全な街を目指し、24時間どんな時でも受け入れ対応できる医療を作って65歳の時に院長を退職し、その後福寿園という福祉法人で24時間対応できる在宅介護を作っています。そういった面から安全で安心な街を作ったつもりなのですが、7年ほど前の調査で南砺市の高齢者の自殺率がとても高いということがあり、安全安心や豊かさや幸せは別物で、人が幸せで元気に生きるには人との繋がりの中で何かの為に役割を果たす、そういう社会にしないといけないということに気づきました。

本日のお話「南砺の100年後へ」「みんなが支え助け合う温かい街づくりと持続可能な次世代への社会を繋ぐ事」、その二つが我々南砺幸せ未来基金の望みです。今日浦井の話聞いてもらって少し理解と協力をしていただければありがたいと思います。

《浦井啓子事務局長》

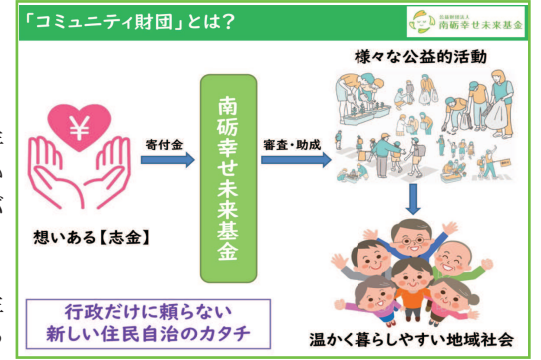


私はこちらの財団に2021年から入りまして3年目になります。〈南都の100年後へ「ひと」と「未来」をつなぐ〉これは一昨年南砺地域の中で形を作ってきた財団を次にどう活かして行けば良いかを考えた時に、何かビジョンを持ちたいということで、メンバーの仲間たちと一生懸命議論をして決めたものです。

日々生きて中なかなか100年後とか考えられませんが、ずっと南砺に生まれ育ちまして、この風景がすごく好きでそこに人々の営みがある、生活があるということが私の南砺だと思っています。今、少子高齢化が進んでいる中100年後に人がちゃんと住んでいてこの風景が守られているのだろうかということ考えた時、地域の中に残していきたいものって何だろうということ財団の立場で考えていくことも必要じゃないかなと考えまして、スローガンでもあるこの言葉を本日の卓話のタイトルとさせていただきます。

まだまだ私たちの存在は知られていませんが、南砺幸せ未来基金という財団という仕組みを使って思いのある、志のあるお金を思いのある方々の活動に使っていただく、その結果として素敵な地域が出来上がるというふうに思っております。地域には様々な課題

◆卓話者紹介
川合声一 会員
今日は南砺幸せ未来基金より南理事長と浦井さんに来て戴きました。現在の活動状況や内容についてお話ししますのでよろしくお願ひします。



「南砺幸せ未来基金」とは？

南砺市内を活動範囲とする「コミュニティ財団」です

＊コミュニティ財団 地域性、市民性をもった財団

○地域性

- 全国を対象とせず、地域に根差した組織であること
- 地域が持つ文化、暮らし、課題に寄り添い「地域のための組織」であること

○市民性 市民のために市民がつくる

- 特定の企業や個人、行政機関などが設立したものではない、市民立の組織であること
- 市民一人ひとりの課題解決を支える意思が生み出したもの。

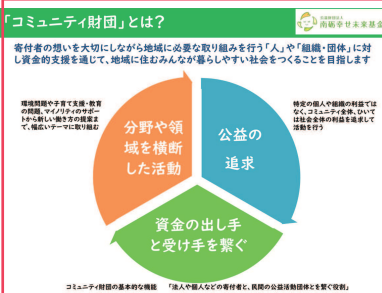
があります。行政の方々にして戴くこと、地域住民が自分たちでやること、それだけではない新しい住民自治の形を模索していく時期にあるのではないかと考えておまして、その一つのやり方として、こういったコミュニティ財団というもの存在するかなと思っています。私たちはコミュニティ財団と名乗っております。全国的に見ても非常に珍しく、コミュニティ財団という仕組みを持っているのは富山県の中では私たち南砺幸せ未来基金しかありません。北陸全体で見ると今は石川県に二つあるだけです。少しずつコミュニティ財団というものが、増えてきております。全国で見ると、全国コミュニティ財団協会というのはございまして、その中で見ても、21団体しか登録がないので、やはり日本全国に渡っても非常に珍しい、そういった仕組みを持っております。

コミュニティ財団は、まず一つは地域の為にあるということで公益の追求、あともう一つ、行政の縦割りになりがちな活動と違い、私たちは分野や領域を横断して活動を助成できる事が強みかなと思っています。お金を出す人と活動する人をつないでいく事も私たちの大きな役割

だと感じています。

南砺幸せ未来基金は南砺市内という活動範囲を決めております。全国のコミュニティ財団と名乗るところは皆さん地域性があり、私たちの南砺幸せ未来基金は、南砺市以外の活動は、応援できないという事になっております。もう一つの大きな特徴は市民性があります。市民のために、市民が作ったそういった財団となっており、市民の皆様がこういうのがあったらいいよね、という思いを実現するためのものとして生まれています。財団の設立は2019年で今年5年目に入ろうとしております。その前の2017年からスタートした設立準備会では、川合さんにとってもご尽力いただきました。市民立という性質もありますのでたくさんの方のご協力、257名の方のご寄付をいただいて設立に漕ぎ着けました。当初一般財団法人として立ち上がった後、2019年の12月に公益財団法人の公益認定もいただくことができました。翌年の2020年から本格的にお金を助成するという事業をスタートしていくこととなります。

私は以前全く違う仕事をしておりましたが声をかけていただいてお手伝いさせてもらうことになりました。この活動を考えていくと資金を出す側、受け取る側のお金の循環だけでなく、気持ちそのものが循環していくと思っておまして、資金を出す側の人たちの思いと、活動する側の方の思いが、うまくつながったときにきちんと循環が回るなと思っています。その中で利他の心で社会貢献する気持ち、自分自身の成長や変化、人からの感謝、自分に湧き上がる感謝の気持ち、こういった気持ちの循環が南砺の中でより自然に根付いていくことが素敵だなというふうに入っています。



私たちは物語を作る人を育むというミッションも掲げました。いろんな活動団体さんに、お金を助成していく訳ですが、私たちはただお金をお渡しする仕事ではないなと感じています。皆さんそれぞれ自分の物語を語られるんです。こういう事がやりたいんだ、こういう困ったこともあるからこういう方法で解決していきたいんだ、そういったことを懇々と語ってくださる方がたくさんいらっしゃる、お一人お一人が持っておられる物語に思いや熱意があって行動の源泉になっているのかなというふうに入っています。様々な課題やまた地域を良くしていきたい、そう強く願って活動していくという物語を作る人達をつなぎ合わせて一人から十人、十人から百人で増えていったときに南砺の未来はより豊かに変わって行くんじゃないかなと思っています。私たちの助成の原資はみんなご寄付いただいたものを元にしております。地域の皆様の思いが地域をより良くしていく原動力でございます。私たち公益財団法人ですので当財団へのご寄付いただいた入金は寄付金控除の対象になりますので会社様の経営のご決算で今年ちょっと沢山儲かったわ、という時お声掛けいただきましたらこちらのほうからまたお伺ひいたしますのでご都合もお聞かせいただければと思っております。本日はご清聴いただきありがとうございます。

(今回の会報担者: 谷村修基)